

MINORU NEWS

東村山市議会議員 渡辺みのる活動報告



ボール遊びできる公園を一刻も早く ～12月市議会 一般質問より～

東村山市は、昨年まで3年かけて市内の公園の実態調査を行いました。調査に合わせて、市内の小中学生や市民を対象としたアンケートも行っています。

アンケートでは、ボール遊びができる公園を作ってほしいという意見が、小中学生では54%、市民では13%と、多く寄せられています。

市は、公園の再配置・再整備の方針策定の中で位置づけるとしてはいますが、子どもが公園で遊ぶ期間は限られています。公園に関わる最優先課題として、一刻も早く整備してほしいです。

現在、前川公園（野口町）と運動公園（恩多町）のグラウンドの空き時間を活用して、試行的に子どもがボール遊びできる場所として開放しています。しかし、木曜日と一部の水曜日の15時～16時30分までと、曜日も時間も限られています。

子どもには、気が向いたときに気軽に遊べる場所

が必要です。また、広い市内に2か所だけでは少なすぎます。

いつでもボール遊びができる公園が市内各所に必要だと思います。

東久留米市では、「小学校区に1か所」のボール遊びができる公園を整備する計画を進めています。東村山でも、市民一とりわけ子どもたちにわかりやすく「1年間に〇か所」というような計画を作り、予算を確保した上で、近隣住民の理解を得る努力をすることが求められています。

水曜日の開放で
子どもが遊ぶ前川
公園グラウンド



公共施設は市場的？

12月議会に提案された各公共施設の使用料改定。市は、“使用料・手数料の基本方針”に則り、公共施設を「基礎的か選択的か」「非市場的か市場的か」の4つの角度から検討し、人件費などを考慮して見直したとしています。

東村山市は、すべての公共施設が「選択的かつ市場的」なサービスつまり「特定の市民に利用され、他の民間施設で代用可能」と分類しています。

公共施設は、地方自治法もしくは社会教育法などを根拠に設置されていて、すべての市民がいつでも利用できる施設で、民間の会議室などで代用できるものではありません。

今回の改定では、ほとんどの施設利用料が値上げとなります。昨今の物価高によって市民生活がひっ迫している中で、値上げとなれば市民の活動に大きな影響を与えることが懸念されます。

市民のコミュニティの醸成や学習機会の創出、住民福祉の向上の視点に立って、公的責任の下で市民の負担を軽減すべきです。



非正規公務員の正規化を

現在、東村山市役所には、役
350人の非正規職員（会計
年度人湯御職員専門職）が常
時勤務しています。加えて、繁
忙期や正規職員などの欠員対
応の臨時的に雇用する職員
（アシスタント職）もいます。

非正規職員の中には、保健
士や保育士、栄養士、臨床心
理士、介護認定調査員など、
専門的資格や経験を持った職
員もたくさんいます。

市は、「家庭の事情などで、
短時間の働き方を希望する

人もいる」という見解です。
一方、非正規公務員の公募
によらない任用回数の上
限（東村山は4回）を撤廃する
自治体が広がっています。民間
では、短時間勤務の正規職員
を雇用する動きもあります。

非正規職員の中には、専門
性を活かすために異動のない
非正規を選択している方もい
ます。

公務員の雇用の仕方を根本
的に改める時期に来ているの
ではないでしょうか。



↓SNSはコチラから↓



X
(旧Twitter)



YouTube



Instagram



ホームページ

＼困ったときは共産党に相談を／

生活保護は権利です。

年金が少ない、物価が上がって生活が大変な
ど、暮らしのお困りごとがありましたらいつでもご
相談ください。

年金や仕事、持ち家があっても生活保護を利用
することはできます。

市役所に相談に行く際の同行も行っています。

お気軽にお電話ください。

渡辺みのるTEL:070-2177-7629

■東村山市議会法律相談

場所：東村山市役所 日本共産党控室

日時：毎月第1水曜日(月により変更有)

※要予約のため、渡辺までご連絡ください。

■しんぶん赤旗をお読み下さい！

日刊紙 月額3,497円

日曜版 月額 990円

お申込み、お問い合わせは

お気軽に渡辺みのるにご連絡ください。

～渡辺みのる子育て日誌～

クリスマスが近づくとつれ、子ども一特に
小学生の次女と3女が浮き足立ってきている。

早々に「サンタさんへの手紙」を書き、母
親に「サンタさんに渡しておいて」と預けて
いた。先日は、部屋にクリスマスツリーを飾
り、準備万端だ。

長女は、高校生ということもあり、少し冷
めた目で下の二人を見ている。

当日に食べたいもののリクエストや部屋の
飾り付けなど、親の苦勞も知らずに言うんだ
ろう。と、自分の子どもの頃を思い出しながら
頭を悩ませている。

クリスマスが過ぎれば正月。祖母の家に泊
まることを楽しみに待っている。

子どもが子どもでいられる時間は短い。で
きる限り叶えてあげたい。